

28 (’01 一橋大)

【難易度】…標準

四面体 OAPQ において、 $|\vec{OA}| = 1$, $\vec{OA} \perp \vec{OP}$, $\vec{OP} \perp \vec{OQ}$, $\vec{OA} \perp \vec{OQ}$ で、 $\angle PAQ = 30^\circ$ である。

- (1) $\triangle APQ$ の面積 S を求めよ。
 (2) $|\vec{OP}|$ のとりうる範囲を求めよ。
 (3) 四面体 OAPQ の体積 V の最大値を求めよ。

【テーマ】: 四面体の体積

方針

$\vec{OA} \perp \vec{OP}$, $\vec{OP} \perp \vec{OQ}$, $\vec{OA} \perp \vec{OQ}$ なので、 O を原点にとれば、 A, P, Q は xyz 空間内において軸上にとることができるので、座標を設定します。

解答

- (1) 題意より、3点
- A, P, Q
- を
- xyz
- 空間において

$$A(0, 0, 1), P(x, 0, 0), Q(0, y, 0)$$

とおくことができる。 \vec{AP} と \vec{AQ} のなす角が 30° より、

$$\vec{AP} \cdot \vec{AQ} = |\vec{AP}| |\vec{AQ}| \cos 30^\circ$$

$$(x, 0, -1) \cdot (0, y, -1) = |\vec{AP}| |\vec{AQ}| \cdot \frac{\sqrt{3}}{2}$$

$$\therefore |\vec{AP}| |\vec{AQ}| = \frac{2}{\sqrt{3}} \dots\dots \textcircled{1}$$

ゆえに、

$$S = \frac{1}{2} |\vec{AP}| |\vec{AQ}| \sin 30^\circ = \frac{1}{4} \cdot \frac{2}{\sqrt{3}} = \frac{\sqrt{3}}{6} \dots\dots(\text{答})$$

- (2)
- $|\vec{OP}| = x$
- より、
- x
- のとり得る値の範囲を求める。
- $\textcircled{1}$
- より、

$$(x^2 + 1)(y^2 + 1) = \frac{4}{3} \dots\dots \textcircled{2}$$

であるから、

$$y^2 = \frac{4}{3(x^2 + 1)} - 1$$

であり、 $y^2 > 0$ より、

$$\frac{4}{3(x^2 + 1)} - 1 > 0 \iff x^2 < \frac{1}{3}$$

$x > 0$ より、 $0 < x < \frac{1}{\sqrt{3}}$ である。したがって、 $0 < |\vec{OP}| < \frac{1}{\sqrt{3}} \dots\dots(\text{答})$

- (3)
- $V = \frac{1}{3} \triangle OPQ \cdot OA = \frac{1}{6} xy$
- である。ここで、
- $\textcircled{2}$
- より、

$$x^2 y^2 + x^2 + y^2 + 1 = \frac{4}{3} \iff x^2 + y^2 + x^2 y^2 = \frac{1}{3}$$

であり、 $x^2 > 0$, $y^2 > 0$ より、相加平均・相乗平均の関係から、

$$x^2 + y^2 \geq 2\sqrt{x^2 y^2} = 2xy$$

等号は $x = y$ のとき, すなわち ② より,

$$(x^2 + 1)^2 = \frac{4}{3} \quad \therefore x^2 = \frac{2\sqrt{3}-3}{3}$$

となるので, 等号が成立する x, y の値は存在する. よって,

$$x^2 + y^2 \geq 2xy \iff x^2 + y^2 + x^2y^2 \geq 2xy + x^2y^2$$

であるから,

$$\frac{1}{3} \geq 2xy + x^2y^2 \iff 3(xy)^2 + 6xy - 1 \leq 0$$

ゆえに,

$$\frac{-3-2\sqrt{3}}{3} \leq xy \leq \frac{2\sqrt{3}-3}{3}$$

となり, $xy > 0$ より,

$$0 < xy \leq \frac{2\sqrt{3}-3}{3} \quad \therefore 0 < V \leq \frac{2\sqrt{3}-3}{18}$$

を得るので, V の最大値は, $\frac{2\sqrt{3}-3}{18}$ (答)

◇ ————— ♡

解説

本問のポイントは, 座標空間内に四面体を置くことにあります. その理由は

$$\vec{OA} \perp \vec{OP}, \vec{OP} \perp \vec{OQ}, \vec{OA} \perp \vec{OQ}$$

という条件があるからです. (1) は, 情報が少なく戸惑うかもしれませんが, $|\vec{AP}| |\vec{AQ}|$ の値を一つとみなすことができたかどうかは鍵となります. (2) は (1) で座標を設定していれば, 方針も立てやすいでしょう. (3) は, 相加平均・相乗平均の関係を用いているので, 等号成立条件を忘れずに書いておきましょう. 等号はいつも成り立つとは限りませんから, これがないと減点対象となります. また, 別解として $x^2 + 1 = t$ と置くことで,

$$y^2 = \frac{4}{3t} - 1$$

と表せるので, x, y の 2 変数を t の 1 変数にすることもできます. ただし, その際新しく置いた文字 t の範囲が $t > 1$ であることも述べておきましょう.